

平成23年 9月20日(火) 発行



# 高附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会  
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



2011  
熱戦再来  
北東北総体  
(インターハイ)



第68号  
2011・9

## 挨拶



父母の会会長  
藤 縄 宗 一

平成二十三年度、父母の会の会長を務めさせていただくことになりました。藤縄と申します。どうぞよろしく願います。

まずは、三月十一日に起こりました「東日本大震災」で、多くの命が失われたことに対し謹んでおくやみを申し上げます。また、たくさんの方々被災をされました。その方々に対し、一日も早く復興されますよう願っております。

さて、五月二十一日に平成二十三年度父母の会・部活動後援会が開催され、会員の皆様には大変お世話になりました。皆様のご協力の下総会が無事終了しましたことを改めてご報告致します。

そして、先日行われました父母の会学年・学級懇談会では、第三学年を始めに二年生・一年生そして欠席者対象と四回に渡り実施を

させて頂きました。各学年ともそれぞれのテーマで取り組み充実した懇談会となりました。今年度も例年同様、多くの会員の皆様にご参加をいただき高い出席率のもと開催することができましたことを厚く御礼申し上げます。また、この懇談会を成功に導いてくださいました担任の各先生や各主事の先生方・各学年主任の先生方へ深く感謝をいたします。

商大附高は千三百名を超える生徒数を誇り、そして我々父母の会も大きな組織であり学校発展の一翼を担っています。また、保護者の皆様は、ご家庭では子ども達の健康を気遣い、毎日学校に送り出していることでしょうか。

父母の会としましては、学校や先生方との連携を図り、生徒達の進学・進路或いは学校生活についての応援体制を皆様のご協力をもとに築いていきたいと思えます。結びに、会員の皆様には引き続き父母の会並びに部活動後援会の活動にご支援とご協力をお願いすると共に、商大附高に通う生徒達がこれからも明るく元気に学べるよう願っています。



理事長・校長  
森 本 純 生

父母の会の皆様には日頃より本校の教育にご理解を頂き、学校へのご協力とお力添え賜り、誠に有り難う御座います。五月の総会で新入生四八七名の保護者を新会員に迎え、二年間会長を務められた城田克巳様に代わって藤縄宗一様がお新会長になり新役員が組織され新年度がスタート致しました。継続して役員をお引き受けいただきました方、又、新しくご就任下さいました役員の皆様には何とぞ宜しくお願い申し上げます。各学年の学年学級懇談会が例年通り夏休み前に終了しましたが、皆様の熱心さや出席率の高さには毎年のことですが驚かされます。内容も各学年に対応し、充実した懇談会でありました。今年は講堂に冷房が入りましたので、暑さ対策は心配なく準備することも出来ました。昨年の夏が日本の気象観測始めて以来最も暑い夏であったそうですが、今年は更に猛暑であった

ように思われます。その中、インターハイの本校出場種目は青森県で開催され三クラブの男女が大活躍してくれました。結果は別掲。フエンシングの会場は本州最北端の下半島むつ市で開催、新しく開通した新幹線新青森駅を經由しても九時間かかりました。空手道の会場の十和田市には八戸から片道二時間半かけて三日間通いました。一週間置いて再びアーチアリー会場の八戸へ、宿舎から試合会場まで二時間かかります。二度に分けて九日間青森に滞在しましたが、交通が不便で苦労しました。在来線は一時間に一本の電車でも更に乗り継ぎの連絡がされていないのです。よって選手はマイクロバスやレンタカーを利用しなければなりません。東北の被災地の皆さんの被災時の冷静な秩序ある行動や今や半年になる劣悪な環境の中で耐えている、我慢忍耐力が報道されてはいますが、普段の生活の中で培われた東北人精神なのでしょう。新政権の復興援助により一日も早い完全復興を信じています。さて、夏休みが終わり二学期が始まりました早々に本校野球部の不祥事が発覚致しました。部員生

学年委員長挨拶

徒の将来や野球部、学校の今後を  
考え、部員生徒からの自己申告を  
促し、秋の大会出場を自粛致しま  
した。大会出場辞退の報道が大き  
く扱われ、全校生徒諸君やご父  
母には大変なご迷惑をお掛けしま  
した。今後このようなことの起き  
ぬように十分にきめ細かい教育指  
導を徹底してアンフェアな行為  
は絶対に許さない本校の方針を貫  
いて参る所存です。父母の会の皆  
様へのご挨拶がこのようなかたち  
になり誠に申し訳ありません。お  
詫びを申し上げます。

三学年委員長 渡邊 徹

先に行われました、父母の会総  
会、学年学級懇談会へのご出席あ  
りがとうございました。進路達成  
に向けての、宇佐美さんの講演と  
担任の先生のお話、懇談など有意  
義な時間を過ごすことができました  
。皆様におかれましてはいかが  
だったでしょうか。保護者の皆様  
のご協力に感謝申し上げます。  
今頃子ども達は二期期に取り組  
んでいる所でしょう。進路に向かっ

て約二年半地道に努力してこれら  
れたいと思います。その結果を出さな  
ければならない時が近づいていま  
す。疲れてきている所もあるでしょ  
うが、先生方は皆熱心である事が  
分かっていっていると思います。更なる  
ご指導を仰ぎこはもう一工夫と  
努力で希望する進路に向かつてい  
てください。家庭としても出来る  
限りの協力を惜しまないつもりで  
す。健康には十分気を配りながら  
も、最も頑張りが利くこの年代に  
こそ、若さに物を言わせて乗り切  
て欲しいと思います。

二学年委員長 下川 強

昨年引き続きまして学年委員  
長を仰せつかりました下川と申し  
ます。よろしくお願いいたします。  
過日の学年懇談会では、各会場  
に分かれて進路説明会が行われま  
した。学校にも慣れた二年生は、  
高校生活の中で一番楽しい時期で  
あるのと同時に、この先の人生を  
決定するという意味において一番  
大切な時期であると思います。十  
七歳の高校生に将来どんな仕事に  
就きたいかと聞いても、明確な目  
標を持っている生徒は数少ないと

思います。我が身を振り返ってみ  
ても、高校生の頃、将来どんな職  
業に就くか、自分がどんな仕事に  
向いているかなど考えたこともあ  
りませんでした。それでも、友人  
の中には、本の主人公に憧れて教  
師を目指していた者や、幼い頃に  
親を亡くし医師を目指していた者  
など、具体的な目標を持って勉学  
に励んでいた者もありました。皆  
さん目標を持ってください。目標  
があれば何を為すべきか分かる  
ようになり、努力することに悦び  
を感じるようになると思います。  
近い将来、皆さんの努力が報わ  
れる日が訪れますよう心よりお祈  
り申し上げます。

一学年委員長 今井敏博

一学年の学年委員長になりました  
今井と申します。どうぞよろし  
くお願いいたします。一年生の皆  
様は、義務教育を終えられ自分の  
意志でこの学校に入学されました。  
入学当初の気持ちを忘れずに元氣  
に明るく素直な心をもって、前向  
きに高校生活を送って頂きたいと  
思います。そして、今まで育てて  
くれたご両親は元より、今までに  
出会ってお世話になった方々への感  
謝の気持ちを忘れず、人にやさし

く自分に厳しく生きていって頂き  
たいと願っています。高校生活は  
皆さんの人生の中で最も多感な時  
期です。様々な問題に直面しなが  
ら成長していきます。そして自ら  
の判断で解決していく力を身に付  
ける絶好の時期であり、高校生活  
三年間の土台をつくる大切な時期  
でもあります。是非自分自身の感  
性を磨き、勉学にいそしみ、すば  
らしい高校生活を送ってください。  
私たち保護者会は、生徒一人一  
人が充実した教育環境の下で高校  
生活を送れるように、学校職員と  
相携え精一杯皆さんの後押しをし  
て参ります。生徒一人一人が、輝  
き、活躍されますことを心より願っ  
ています。

出席者感想

普通科特進三年 高瀬 咲子  
第三学年の懇談会は、六月二十  
六日「進路達成に向けて」を学年  
統一テーマに行われました。

第一部全体会では、ライセンス  
アカデミーの宇佐美正利氏をお迎  
えして進路講演会、「高校生の進  
路状況と高校生活」として資料を  
もとにお話していただきました。



進路を決めるにあたり、決して学校まかせ、子どもまかせにしないという話に始まり、生徒が今から心がけておくことや、家庭でのコミュニケーション、学校との連携など具体的な例を挙げてのお話がありました。

第二部は、各クラスに分かれて学級懇談会が行なわれ、担任の先生より、進路関係の今後の流れや校内外の模擬試験、大学の選び方など詳しくお話いただきました。受験までに残された限りある時間、「進路達成に向けて」全力で頑張れる様、見守り応援していきたいと思えます。

普通科進学三年 高橋 淳子  
宇佐見正利先生の講演は、とても内容が現実的で参考になりました。子ども達も同じ講演を聞いたとのことでしたが、殊に「親はアドバイスをしても決定するのは本人、しかし「本人任せにしない」「親の頃の進学に関しての知識は古い」など、耳の痛い内容でもありました。

また、マスコミや身近な所で青少年の様々な問題が話題になる昨今ではありますが、先生の仰るように、生徒本人が環境を肯定し、自分の良いところを見い出せる、

そんな家庭環境や学校が大切と改めて考えさせられた講演でした。実際、商大附では、生徒を褒めたり、伸ばす言葉も多く聞かれることも、気づかされました。

学級懇談会では、ほぼ一〇〇%のご参加をいただき、進路決定に向け、今年度の計画やセンターの詳細など、担任の三木先生よりご説明いただきました。懇談会では父として、母として、それぞれの立場での子どもの向き合い方を熱く語りました。有意義な時間をありがとうございました。

情報経理科三年 堀口 美奈子  
年に一度の学年・学級懇談会ですが、早くも三度目最後の懇談会となりました。学年懇談会では、「進路達成に向けて」をテーマにラ イセンスアカデミーの宇佐見正利氏による進路講演会が開催されました。今、いちばん進路への不安を感じている子どもにとって、家庭でのコミュニケーションがどれほど大切なものであるか気付かされました。その秘訣として「みほちゃん」(認める・誉める・肯定する・賛同する)を見習い、私自身努力しなくてはいけないと反省させられました。

学級懇談会では、担任の田村先

生の手造り資料をもとに話を伺いました。進路計画から始まり、指定校推薦・面接における質問例・県内求人企業一覧(昨年度状況)・履歴書の書き方・願書提出書類申込書等の説明を短い時間の中、丁寧に説明して下さいました。改めて進路の難しさ、厳しさを感じ、もう一度子どもと向き合い、今後の進路に向け、話し合いたいと思います。来年の卒業式を笑顔で迎えられることを願い見守っていきたいと思います。

普通科進学二年 山木 恵子  
二年生恒例の進路別説明会に参加させて頂きました。我が家では、二番目の娘ということもあり、少しだけ気持ちに余裕を持って、講師の先生のお話を聞くことができました。まず進路について子どもまかせにせず、親子、家族でよく話し合うことが大切で、自分の子どもが、どの方向に進みたいのか、また希望の進路がすでにある場合には、どのように進む学校を決めたら良いのか、細かな情報も集めて、目標や計画をたてて生活することが良いのだと、改めて考えさせられました。子どもがなりたいと思う職業に向けての進路

はもちろん大切ですが、進路先への通学方法や、卒業するまでの費用など、まだまだ親が手を貸す場面もたくさんあるのです。子ども達が不安に思わず希望の進路に進めるように、先生方のお力もお借りしてサポートできたらと思います。子どもたちが笑顔で卒業できるように、見守って行きましょ。

情報経理科二年 本郷 香代  
二年生の学年懇談会は「進路実現に向けて」をテーマに、各会場を話を聞かせて頂きました。まだ商科短大に進む事に決めてないのですが、話を聞かせた頂こうと思いい希望しました。

高崎商科短期大学部で講師をしている先生に、短大ではどんな勉強をしているのか、また卒業生がどんな就職先で働いているのか？学校に入学するにはどんな事を頑張っていけば良いのか？などお話を頂き、短大の専門の勉強も楽しそうだと私は感じました。

今の時代は高卒の就職は非常に激しい時代で、進学する方が意外と簡単であるというお話も伺いました。

入学して一年半たち、まだ先の事と考えておりましたが、目標を

すっかりと見つめて進んで行かなければならない時期になったと感じました。この学年は、休まない子ども達が多く出席率の良い学年と聞いておりますので、とてもたくましく思います。三年生終了時に、たくさんの方の皆勤賞が出る事も楽しみにしております。

国際情報科二年 大川 千春

充実した高校生活をスタートさせて一年が過ぎ、今年も学年、学級懇談会が開催された。

テーマは「進路実現に向けて」希望する進路コースごとに、会場が分けられ、そこで講師の方の話を伺うというものだった。まだ先だと思っていた進学も、私の中で現実味を帯び、親子で準備を進めなければ…と認識させられた。当の本人は、シアトル研修や部活で、進学のことは常に二の次なのが現状、これを機に、将来の夢に向けて必要なことや、今の自分にできることなどを、再確認していこうと思った。

学級懇談会は、修学旅行の説明を中心に進行され、昨年にも増して和やかな雰囲気の中で、情報交換をすることができた。

シンガポール、マレーシアと、

海外への旅行は、きっと子ども達一人一人を大きく成長させてくれるだろう。「百聞は一見にしかず」異国の土地に立ち、様々な人物文化に直接触れるということは、机上の学びでは得られない大きな力を培うことができる貴重な体験。国際情報科ならではの学びの中から、これからも「人間力」を養っていったらいいと思う。

普通科特選一年 長坂 昌子

七月十日に一学年の学年、学級懇談会が「充実した高校生活を送るために」をテーマに開催されました。私は早目に着いたのですが、既に沢山の先生方や生徒達が駐車係をしていまして、「お早うございます。」と小気味よい挨拶です。すれ違う生徒達は、全員が挨拶をしてくれます。これは、私が高校へ行く度に感心する事です。

さて、講堂では学年懇談会、そして各クラスに分かれて学級懇談と進みました。一組は特選という事もあり、担任の先生から日々の学習内容や今後の進学等についてお話がありました。父母の話からは、どの生徒もクラス全体に仲が良く、勉強は大変だけど学校が楽しいと言っているという内容が多

かったです。精神的充実。まさに学年テーマどおりでしょうか。

帰りがけの私へ「こんにちは」と声を掛けてくれた男子生徒が、さっそくと自転車に乗って帰って行きました。最後まで爽やかに過ごせた一日でした。

普通科進学一年 朝香 純子

「充実した高校生活を送るために」をテーマに、学年、学級懇談会が七月十日行われました。第一部の全体会では、目的意識をしつかりも努力していく大切さを知りました。努力は人を裏切らない。この言葉は深く心に響きました。

第二部の学級懇談会は、クラス全員の参加で行われました。清水先生より、生活習慣アンケートの結果について、次に進路についてのお話がありました。その中で文武両道を目指し、二年後の進路につなげていく大切さをお聞きしました。保護者の方からは、文理選択についての質問などあり、とても有意義な時間を過ごす事が出来ました。

この懇談会を通じて、先生方の熱心な対応に感謝すると共に、親としても今後のわが子の成長をしっかりと見守っていきたいと強く

感じました。

総合ビジネス科一年 桃北多賀子  
「充実した高校生活を送るために」を統一テーマに、一学年の学年・学級懇談会が行なわれました。

第一部の全体会では、進路、ホームステイ等に関して担当の先生方より具体的な資料にそったお話をいただきました。詳しく且つわかりやすい内容で、始まって間もない高校生活を三年間という枠で俯瞰的に考える良い機会となりました。

学級懇談会では、土屋先生よりまず二年時のコース選択、進路、検定の詳細等に関してお話いただき、卒業後を見据え明確に目標をたて日々努力を継続していくことの大切さを痛感しました。次に日頃のクラスの様子、夏休みの過ごし方等についてのお話を伺い、事前に用意して下さっていた子どもたちへのアンケート結果をもとにグループごとに分れ、話し合いました。限られた時間でしたが、笑顔で和やかに懇談でき大変有意義な時間を過ごすことができました。子どもたちと真摯に向きあいたい温かくご指導下さる先生方へ感謝するとともに、充実した高校生活を送れるよう見守っていきたいです。

## 父母の会 平成 22 年度決算報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

収入の部				
科 目	予算額	決算額	差異	備 考
会 費	15,576,000	15,821,000	△ 245,000	@1,000×15,821人(月平均 約1,318人)
入 会 金	2,075,000	2,090,000	△ 15,000	@5,000×418人(新入生415人・転入生3人)
受 取 利 息	10,000	3,515	6,485	定期預金・普通預金
衛 生 費 収 入	1,323,000	1,325,000	△ 2,000	@1,000×1,325人
雑 収 入	0	0	0	
前 年 度 繰 越 金	3,951,748	3,951,748	0	普通預金 3,226,080円 現金 725,668円
合 計	22,935,748	23,191,263	△ 255,515	
支出の部				
科 目	予算額	決算額	差異	備 考
備 品 費	800,000	777,000	23,000	第2校舎冷水機入れ換え (4台)
会 議 費	1,400,000	782,870	617,130	役員会・学年・クラス懇談会経費
慶 弔 費	300,000	134,050	165,950	香典・花輪・饂飩
補 導 費	100,000	79,370	20,630	情報交換会・校外の生活指導費等
環 境 整 美 費	1,300,000	1,172,720	127,280	校舎校庭の整備・掃除用品・ゴミ処理代
保 健 衛 生 費	1,600,000	1,467,195	132,805	汚物処理・保健室薬品代等
旅 費 交 通 費	300,000	105,040	194,960	役員研修交通費
部 活 動 賛 助 費	3,000,000	3,000,000	0	部活動後援会の補助
通 信 費	50,000	35,680	14,320	会員連絡用切手・封筒印刷
消 耗 品 費	50,000	6,043	43,957	伝票 他
進 路 対 策 費	2,000,000	1,643,436	356,564	進路資料・2011年度版大学入試シリーズ・講演会
生 徒 会 事 業 協 力 費	1,600,000	1,079,690	520,310	芸術鑑賞(歌舞伎)・予饂飩会・附高祭
卒 業 生 記 念 品 費	300,000	267,904	32,096	卒業祝紅白餅
教 育 研 修 費	900,000	769,109	130,891	教職員研修補助
印 刷 費	700,000	604,800	95,200	商大附高だより・学年学級懇談会結果報告書
車 輛 運 営 費	1,500,000	1,619,446	△ 119,446	車輛燃料代・車輛リース代
車 輛 購 入 費	0	0	0	
諸 会 費	2,400,000	2,119,655	280,345	PTA連合会費・スポーツ振興センター負担金・他
雑 費	150,000	108,640	41,360	広告料等
車 輛 償 却 引 当 預 金	1,000,000	1,000,000	0	特別繰越金
創 立 110 周 年 記 念 事 業 費	2,000,000	2,000,000	0	特別繰越金
育 英 基 金 協 力 金	1,000,000	1,000,000	0	学園育英基金
[ 予 備 費 ]	100,000	0	100,000	
次 年 度 繰 越 金	385,748	3,418,615	△ 3,032,867	普通預金 1,454,255円 現金 1,964,360円
合 計	22,935,748	23,191,263	△ 255,515	

(注) 車輛運営費の予算超過額については、他科目予算残高で科目間流用いたしました。

## ※特別繰越金

科 目	金 額	科 目	金 額
車 輛 償 却 前 期 末 積 立 累 計 額	3,600,000	創 立 110 周 年 前 期 末 積 立 累 計 額	5,000,000
引 当 預 金 当 期 積 立 額	1,000,000	記 念 事 業 積 立 金 当 期 積 立 額	2,000,000
合 計 ( 当 期 末 積 立 累 計 額 )	4,600,000	合 計 ( 当 期 末 積 立 累 計 額 )	7,000,000

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校

父母の会 会長

"

父母の会 会計

"

事 務 局

## 部活動後援会 平成22年度決算報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
会費	23,364,000	23,731,500	△ 367,500	@1,500×15,821人(月平均 約1,318人)
入会金	2,075,000	2,090,000	△ 15,000	@5,000×418名(新入生415人・転入生3人)
賛助費	3,300,000	3,300,000	0	父母の会 300万円 同窓会 30万円
寄附金収入	800,000	869,926	△ 69,926	自動販売機売上手数料
受取利息	12,000	8,467	3,533	定期預金、普通預金
預り金収入	0	1,660,691	△ 1,660,691	H22年度春高バレー寄附金収入 3,371,370円 支出 1,710,679円
前年度繰越預り金	3,128,534	3,128,534	0	春高バレー普通預金
前年度繰越金	4,182,731	4,182,731	0	普通預金 1,502,512円 現金 2,680,219円
合計	36,862,265	38,971,849	△ 2,109,584	
支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
大会費	18,000,000	19,118,345	△ 1,118,345	全国(沖繩総体)、関東、県大会等
報償費	4,900,000	4,899,180	820	講師、コーチ等の謝礼
合宿費	1,300,000	1,094,680	205,320	強化合宿・校内合宿補助
備品費	2,000,000	2,048,790	△ 48,790	バレーボール、サッカー部ユニホーム・吹奏楽楽器修理・他
強化費	3,000,000	2,559,792	440,208	強化大会等経費・講習会・施設利用料
渉外費	200,000	214,345	△ 14,345	大会パンフレット協賛金、他
車輛運営費	1,300,000	1,180,160	119,840	車輛燃料代、車輛維持協力寄附金
車輛償却引当預金	1,000,000	0	1,000,000	特別繰越金
部活動振興基金	1,000,000	0	1,000,000	特別繰越金
雑費	30,000	0	30,000	
[予備費]	100,000	0	100,000	
預り金次年度繰越金	3,128,534	4,789,225	△ 1,660,691	春高バレー普通預金 4,789,225円
次年度繰越金	903,731	3,067,332	△ 2,163,601	普通預金 2,505,850円 現金 561,482円
合計	36,862,265	38,971,849	△ 2,109,584	

(注) 大会費・備品費・渉外費の予算超過額については、他科目予算残高で科目間流用いたしました。

## ※寄附金収入について

校内に設置してあります自動販売機は購買部で管理していますが、  
売上手数料につきましては部活動後援会に寄附をして頂いております。

## ※特別繰越金

科目	金額	科目	金額
部活動振興基金	前期末積立累計額 1,500,000	車輛償却引当預金	前期末積立累計額 6,500,000
	当期積立額 0		当期積立額 0
合計(当期末積立累計額)	1,500,000	合計(当期末積立累計額)	6,500,000

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校 部活動後援会 会長  
" 部活動後援会 会計  
" 事務 局



# 父母の会総会報告

平成二十三年度高崎商科大学附属高等学校「父母の会総会」が五月二十一日(土) 講堂において開催されました。開会にあたり城田会長・学校長より挨拶、学校の近況報告がありました。続いて議事に入り、事務局より平成二十二年事業報告、決算報告があり、監事より監査報告の後、審議の結果

承認されました。

次に本部役員の変更が行われ、平成二十三年度の新会長には藤縄宗一氏が選出されました。同時に副会長三名以下総勢三十五名の役員が選出され、新会長のもとでより充実した活動が期待されます。新役員が決まったところで議長が新会長に交代になり、平成二十三年度事業計画案ならびに予算案が提出されました。審議の結果、会員各位のご協力により満場一致

## 父母の会本部役員 (部活動後援会本部役員)

会 長	藤縄 宗一 (F3-6)	理 事	塩沢真由美 (F3-7)
副会長	渡邊 徹 (F3-2)	“	工藤登紀子 (F2-1)
“	下川 強 (K2-2)	“	原 裕子 (F2-2)
“	今井 敏博 (F1-5)	“	猿谷亜恵美 (F2-4)
書 記	城田 幸枝 (J3-1)	“	大谷 哲雄 (F2-5)
“	高瀬 英雄 (F2-7)	“	佐藤 正子 (F2-6)
“	佐野 務 (学校職員)	“	山木 恵子 (F2-8)
会 計	田島とみ子 (F3-4)	“	大川 千春 (J2-1)
“	石綿 綾子 (F2-3)	“	本郷 佳代 (K2-1)
“	岩井 則和 (学校職員)	“	中島美佳子 (K2-2)
理 事	高瀬 咲子 (F3-1)	監 事	山口 裕子 (F3-3)
“	山口 明美 (F3-3)	“	池田 陽子 (F3-8)
“	宇留間哲也 (F3-5)	“	山口かおる (F2-9)
“	川端よしみ (F3-8)	“	高橋 一弘 (F1-8)
“	田村 幸紀 (F3-9)	“	五十嵐栄子 (F1-1)
“	堀口美奈子 (K3-1)	“	樋口 和明 (F1-7)
“	佐藤 昌美 (K3-2)	“	寺沢 由加 (F1-4)
“	高橋 淳子 (F3-6)		

で原案通り承認されました。

最後に、父母の会に数年にわたってご尽力頂きました城田克巳前会長以下、退任された本部役員の皆様には、学校長より感謝状と記念品が贈られ、総会を無事終了することが出来ました。新年度の本部役員は別記の通りです。宜しくお願ひ申し上げます。

(書記 高瀬 英雄)

### 一年生父母が語る

## 我が子に望む 高校生活

特選コース 五十嵐栄子

「どつしてもこの学校に入学したいという意志を貫き、無事に入学してから、早いもので、もう一学期が終了してしまいました。朝学習や補習、部活にも慣れ、新しい制服を誇らげに、そして嬉しそうに着て毎日学校に通っています。

お陰様で担任の先生、クラスメイトにも恵まれ、良い雰囲気の中で毎日勉強させていただいている

のを聞きますと、充実した高校生活を送っている事がわかります。本当にこの学校に入学できて良かったと思います。

人生の中で貴重で充実したこの期間は、長いようで短いあつという間の三年間です。たくさんの方と出会い、助け合い、お互い成長する時でもあります。色々な事を経験し、後悔する事のないようにと思ひます。

そして、小さい頃からの夢を実現させる為、一段ずつでいいのでしっかり登り、「今」を一生懸命頑張ってください。

私達はいつでも応援しています。

特進コース 堀内瑞代

三月十一日に起きました大震災により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

忘れてはいけない大変な出来事であり、この大震災に遭遇し、私もいろいろ考えさせられました。

日本中だけでなく世界中から沢山の暖かいメッセージや支援を頂きました。我が子にも、弱い立場の方を労り、スツと手を差し伸べられる優しい心の持ち主になってほ



しいと思います。

次に七月十七日。女子ワールドカップの大会で、日本が「優勝」男女で史上初!!これは嬉しいニュースでした。「目標設定は金メダル。悔しい思いはしたくない、度重なるピンチをはねのけひたむきに努力」と、ありました。

我が子にも、高校時代にしか出来ない経験を積み、努力を惜しまず、部活動も勉強も前向きに取り組んでほしいです。又、多くの人と出会い、信頼できる友人を作ってほしいと思います。

最後に…親にも相談して下さい。友達、先生の次でよいのです。

我が子の心と向き合い、貴重な高校生活を応援していきたいと思っています。

国際文化コース 小熊まり

中学校での色々な経験から国際文化に興味を持ち、四月から本校にお世話になり、早いもので一学期が終了しました。新しい友達、先輩方、諸先生との出会いに「学校楽しい」と笑顔で話す娘に、充実した生活を日々感じ、嬉しく思います。

我が子に望む事は、三年間、真

面目に高校生らしく、自分らしく悔いのない生活を過ごして欲しいと思います。三年間で色々な事に目を向けチャレンジし、目標とする事を見つけて下さい。

学年懇談会のお話の中に「努力は人を裏切らない」とありました。何事にも前向きに取り組み、努力する、今一番大切な事です。努力したら結果として返ってきます。

楽しい事ばかりではなく、困難な事もあるかと思えます。諦めず強い精神で前へ進んで行って下さい。信頼できる仲間を大事に思いやりと感謝の気持ち忘れず、一日一日を大切に過ごして下さい。

三年後、心身共に一回りも二回りも成長し、たくさんの思い出と希望への道が開けてる事を心から願い、応援していきます。

普通科進学コース 木村恵美子

未曾有の大震災から一カ月、無事に入学式を迎えられ、息子は充実した学校生活を送っています。

三年生に長女が通っています。本校の教育実践に深く感銘し、息子の進学先と決めました。しかし勉強に力を入れていなかった息子にとっては甘い事ではなく、中学

の担任から模試等で良い結果が出なければといわれ、勉強した結果推薦を頂けて受験。合格を頂きました。文化祭や入試説明会に参加した事で高校生になるという自覚もプラスに働きました。息子は、バトミントン部に入部、顧問の先生の下、先輩達仲間と共に厳しい練習の中、勉強との両立に頑張っています。また今夏も娘の受験の為幾つかの大学へ見学に行きました。ある大学ではまだ受験には程遠い子どもを連れて参加している人もいて、とても感心しました。

「英知を磨くは何のため 君よ、それを忘るるな……」これは、ある大学の創立者が開学の日に、学生達に送った言葉の抜粋です。多額の費用に係る現実。今から取り組まなければあつという間の三年間。進学するのは何の為、息子と共に考え進もうと思えます。

総合ヒジネス科 黒澤みゆき

四月に入学し、「あつ」という間に一学期終了。慣れない学校生活・家から学校まで自転車で一時間以上・そして部活動(野球部)商大附に入学出来た事がなによりです。毎日が楽しくて、楽しく

て…特に制服が気に入り、家に帰って来てからもずつと着ていました。どこへ行くにも制服。そんな姿があとけなく感じました。

高校生とはいえ、まだ子どもです。小さい頃の子どもの思い出します。今、思えば、あれは、小学校一年生の時でした。学童の先生に、少年野球の見学に連れて行ってもらい、それがきっかけとなり、入部しました。あれから十年。長いようで短かった野球生活。今現在も尚、野球部で頑張っています。小学校一年生で入部した時に子どもと約束した事があります。それは、「自分で決めた事は、最後までやる。途中で何があっても、やめない事」が母との約束でした。人生、山あれば、谷あり。人間努力あるのみです。「やれば出来る、必ず出来る、誰にでも出来る」何事も、努力すれば、結果が出来ます。それを信じて、今後の目標に向かって頑張ってください。

商大附野球部に期待しています。頑張れ!!母は、いつも応援しています。ケガをしないようにね! 高校生活は、一生の思い出となります。色々な人に出会い、色々な経験をし、そして、大人へと成

長して行きます。我が子の成長が楽しみです。

「自分に厳しく、人に優しく」  
 良き大人になって欲しいです。

社会人になった時に、恥ずかしくない大人。正々堂々と、胸を張って、生きて行ける立派な大人に成長して欲しいと思います。

総合ビジネス科 茂原 恵子

高校に入り、野球部に入部四十名近い先輩と二十数名の同級生と苦楽を共にする事により、心身共に成長してもらいたいと思っております。

思えば、中学の卒業式の日、千年に一度とも言われるような、大地震に見舞われ多くの尊い命が奪われ、未だに復興がなかなか進まない状況を報道などで目にします。この時期になると高校球児の特集もテレビ等で目にします。

その中でも、この震災で野球の環境も様々な形で、奪われてしまっています。その中でも子どもたちは挫けずがんばっています。

そんな子どもたちを見る度に、今思いつきり野球が出来る環境に感謝出来るような、気持ち育ててほしいと思います。

高校生活とは、子どもでいられる最後の三年間であり、大人の仲間入りする為の大事な三年間だと思います。

だからこそ、今出来る事、今しか出来ない事を精一杯やる。そして向き不向きを言う前に、前向きにそしてひたむきに取り組んでほしいと願います。そして、この三年間で仲間と言う、人生における宝をみつけてほしいと思います。

なぜなら、商大野球部は自分で選んだ「道」だから！



特進選抜・特進コース主任

大澤 香代子

今年の夏も厳しい暑さが続きました。その上、東日本大震災による節電と復興への困難な道のりを

思うと、夏という季節を存分に楽しむことはできなかつたように思われます。

しかしその一方で、若者の逞しさや未来への可能性の大きさに改めて気づくことができました。震災対応に右往左往する大人たちを尻目に、中学生や高校生の若者が中心となってボランティア活動をリードし、復興への希望を語る頼もしい姿を数多く目にできたことは大きな救いとなりました。本校の生徒たちもこれまでのこと、そしてこれからのことと様々に思いを巡らせたことでしょう。

今年度より特別進学コースは、「特別進学選抜コース」と「特別進学コース」の二コースを設け、生徒の進路希望と達成のための、より充実した教育の展開に努めております。おかげさまで多くの一年生を迎え、コース全体では八クラス二〇〇名以上の生徒が在籍しています。この一年、文化祭・予餞会・オープンスクール等、コースとして学校行事にも積極的に参加し、また学年を超えた交流も盛んに行われています。先輩が模範となつて後輩をリードし、後輩は先輩の姿を手本に追いつき追い越そ

うと努力を重ねています。その成長の度合いは年を追うことに増し、大変嬉しく思っています。そして、この生徒たちこそが、十年後二十年後の日本の未来を託された世代に他なりません。今はまだ、土台となる知識を獲得すべく学業に励み、様々な経験を通じて人間性を磨く日々ですが、必ず日本の復興の大きな力となってくれることと確信し期待は膨らむばかりです。

一年進学・国際文化コース主任

鈴木 啓明

一年生も一学期が終了し夏休みに入り、少々開放的な気分になつていることと思います。

今年は、入試の形態が変わり、例年と比べると心配な面がいろいろと懸念されていきました。が、実際始まってみますと、生徒はもろん先生方の努力もあって、現在までのところ、退学・停学のような大きな問題もなく、意欲を失つて進路変更する生徒も出ず、ほつとしているところです。

とは言つものの、全く心配がないわけではありません。大きな問題こそ起きなかつたものの、もう少し積極的・意欲的になれないも

のかと思わせる生徒もかなり見受けられました。学校という所は、いろいろな意味で生徒を守っています。従ってその中にいる生徒は特に目立つた行動をとらない限り、平穩無事でのんびりと過ごすことができるのです。でも、果たしてそれで良いのでしょうか。将来を考えた時、今彼らに必要なものは何か、大切なものは何か。考えてほしいと思っています。三年生になつてからでは遅すぎることもたくさんあります。

たとえば、学力の向上。これは、将来の進学就職に備えて、学業成績を上げておく、あるいは、受験に備えて実力を養っておく。いずれにしても一朝一夕に出来るものではありません。そして、何よりも日ごろの学習がおろそかになると、授業の内容が理解できなくなり、最悪の場合は、学校に対して関心が向かなくなってしまう。そこで、我々は、生徒が授業内容が理解できなくて学校に関心が向かなくなることを避けるため、ぜひとも家庭学習の習慣をつけさせたいと考えています。そのためには、時間はともかく、まず机に向かう習慣作りと考え、「一日一度

は机に向かうこと」をモットーに、この一学期を指導してきました。その流れで、夏休み中も、『宿題ノート』や『学習ノート』を作り、登校日・始業式には提出を義務付けました。学習の習慣がなかった生徒も、すこしずつ自宅で教科書を開く習慣が身に付くことを願っています。

夏休みの間も、クラブ活動に一生懸命に取り組んでいる生徒もいます。その彼等にも、学習の習慣はきちんとしてもらいたい、着けるべきだと考えています。そうすることで、我々は、全員が希望通りの進路に進むことができることを願っています。

最後に、私の高校時代の友人が三十年ほど前に言った言葉を紹介します。「高校時代に勉強した難しい数学の公式や訳の解らない英語が実社会で役に立つものか」と当時思っていたが、やはり、ほとんど役に立たなかった。でも、その難しいもの困難なものに立ち向かおうとする気持ちは高校生の時にしか養えないのではないか。少なくとも、社会へ出てからでは誰も教えてくれない。」と。とにかく、これからの難しい世の中を生

き抜く上で、生徒には後悔の少ない、出来れば後悔のない人生を歩んで欲しいものです。

二年進学コース主任

菊池弘幸

昨年度が東日本大震災の真つた中で終わり、今年度は一体どうなるのかと多少の期待を抱いていたわけでありますが、復興は遅々として進まず新たな被害が広がる一方です。このような状況で一学期を終え夏休みを迎えたわけですが、その休みも終了してしまいました。あの三月十一日以来私たちは、何かにつけて津波と原発事故の被害に遭われた人々のことを思い、出来ることはしようと思がけてきました。ひよつとするとボランティアで東北地方に向いた生徒もいるかもしれません。

一年前の今頃はこんなことが起こるとは思いもせず、ただ今後の日本は以前の日本とは明らかに変わって来る、例えば就職が大変になるとか。大卒の五人に一人は、大学院への進学も就職も決まっていなかつた。そしてそのような状況に備えるためにも高校生活を充実させようなどということを生徒

に話していました。

時間が経つのは本当に早いものでいろいろな出来事があつたという間に過ぎ去って行き、忘れ去られていきます。そしてそのようなものの中には忘れてはいけないものがあり、今後の生活に生かさなくてはならないものがあります。これからの日本をしようとして立つことになる正に今の高校生はそこをしっかりと心得てやっつけていかないと大変なことになってしまうような気がしてなりません。危機感ばかりを煽っても仕方ありませんが、これからの日本は明らかに変わつてくるという言葉は今かなりの確信を持って反芻している自分がいるのも事実なのです。

くよくよばかりしていないで前に進もう。こんなことが起こっている時だからこそ自分をもう一度見直して自分の未来を、ひいては日本の未来を考えたいと思う今日この頃であります。

三学年進学コース主任

高橋久雄

みなさんは東日本大震災にどんなことを感じましたか。「生きていくことへの感謝」と「学び続け



ることの意味」をもう一度しつかりと考えるべき時が今訪れているのではないかと思えます。本当の幸せは自分の周りにいる家族や、友人たちが皆、健康で心穏やかに過ごしている日常の中にあるという事実が気づかされた大震災だったのでないでしょうか。人は誰かのために役立てる仕事をするのが、もしかすれば本当の幸せというものに近づく一歩なのかもしれません。

あつという間に九月を迎えました。いよいよ進路達成に向け大切な時期になりました。一学期は、二年時に比べ欠席、遅刻が激減し、みなさんの意識も進路達成に向かっていると感じました。一学期の段階は広い視野から学力も含めた現実的な志望校決定をしていく時期でした。夏期休業中には夏期講座の参加、毎日六時間以上の学習をお願いしましたが、実行できたでしょうか。受験科目の学習、面接、小論文対策等やるべきことは尽きなかったと思えます。就職希望者にとって、求人状況は昨年と比べるとさらに悪く、超就職氷河期となっています。一学期には多くの学校で推薦入

試が実施されますが、推薦入試に固執せず、自分の実力を試す意味でもセンター試験、一般受験にチャレンジして欲しいと思えます。自分の将来についてしつかりした目標を持ち、進路達成を自らの手で決めてください。「今が大事」なのです。

人は自己の未熟さを責め、自己に対して厳格でなければならぬと思います。反省や後悔があつてこそ、向上があります。大切なのは自分を見つめて改善に向けて努力することです。卒業まで決して気を緩めず、絶えず向上心を持って歩んで行って下さい。努力した分、結果は裏切らないと信じています。そして、自分なりの勝利を勝ち取って下さい。数年後には社会人になっているみなさんが、震災後の日本がどう立ち直つていったのかを語り継げる大人になって欲しいと思えます。

国際情報 総合ビジネス科主任

### 善如寺 孝益

三年生にとっては、この二学期からの最後の高校生活が人生の節目になります。自分が歩む大切な進路選択をしなければなりません。

いままでどう過ごしてきたかは問題でありません。これからの数カ月を如何に集中して過ごせるかで、希望の進路実現ができるのです。本当の意味で「精一杯の力」を振り絞って頑張ってくれることを願います。

二年生は、「国際」と「情報」をテーマに生き抜く力を育ててきた国際情報科の最後の学年になります。将来を見据え、各々日々学習に取り組んでいますか？今学期は一度しかない高校生活の折り返し点です。友人のこと、部活のこと、勉強のこと、是非もう一度その原点に立って自分自身を見つめ直し、軌道修正、目標のバージョンアップをして欲しいと思えます。頑張ってください。

一年生は、新学科「総合ビジネス科」の一期生になりました。ただ、その教育理念は一〇〇年を越す本学園の創立時から受け継がれている「実学教育」にあります。ことに商業教育においては、昭和三十六年の商業科の設置に始まり、平成三年に情報システム科と情報経理科になり、そして、商業教育五十年の節目の本年より男子生徒を受け入れ総合ビジネス科となり

ました。教育とは、親から子へ、子から孫へ受け継がれていくもので、本校の商業教育の五十年の歴史も同様で、一期生の大先輩は七十歳近くになります。そんな伝統を受け継いだ学科が皆さんが学んでいる「総合ビジネス科」なのです。是非、そのことを肝に銘じ、学習に励んで欲しいと思えます。

一日の二十四時間は、皆に与えられた平等な時間です。大切なはその時間をどう使うかです。ダラダラ過ごすのか、集中しメリハリを持って過ごすのか、でも時間は同じです。一度しかない貴重な高校生活、時間を大切に、日々前向きに頑張ることを願います。応援してまます。

情報経理科主任

### 田沼 稔夫

私は担当教科が国語である為、この夏休み中、三年生の進路指導の一環として、小論文の添削指導を行っていました。そうした中で感じたのは、「東日本大震災」の影響を少なからずの者が受けているという事です。当日は本校も授業日で全員で校庭に避難し、交通機関の乱れや停電等も重なり、最



後の生徒が帰宅の途にいたのは夜の八時を回っていました。その後も計画停電により、三月末まで通学や授業に支障をきたしたのは周知の通りです。

生徒の書いてきた文章に目を通してみると、看護を志す者には直接的にその影響があったとは言ってもありません。被災後の混乱の様子を見て、今度何かあった時にはぜひ自分も現場で役に立ちたいという思いを強くしているようです。地域政策学科を志す者も、被災者の避難所での地域のコミュニティの崩壊を心配し、長崎で被爆者の講話を聞いた者も、原子力発電所事故を憂えています。

今回の震災が日本に与えた損害はあまりにも大き過ぎますが、そうした中、若者の心の中に、再生の為の芽吹きが確実に感じられるのは本当に救いであると痛感しています。

## 全学年対象「学校評価アンケート」集計結果について

本校では、平成17年度から、教育の充実を図るべく、生徒と保護者を対象に「学校評価アンケート」を実施してまいりました。平成22年度末に実施したアンケート結果がまとまりましたので、御覧下さい。No.1、9、10、11、13、17、25、26、27に見られるように、基本的な生活習慣は身につけている生徒が多く、挨拶、服装身なりに気をつけ、落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送っている様子が伺えます。一方で、No.2、7、18、23に見られるように、土曜講座の参加率が低く、家庭学習も1時間以下の生徒が2/3を占める状況です。これは、毎年変わらない本校生徒の傾向といえます。学校としましては平成24年度からは土曜講座を廃止し、隔週土曜日授業の実施により、学習時間の確保をしてまいります。生徒諸君は、進路達成のために何をなすべきかを一人一人が考え、日々実行してゆくことが大事です。ご家庭におかれましても、ご子女の学習習慣の確立に向けてご指導いただきたくお願い致します。



- 評価内容      4 … よく当てはまる                      3 … 当てはまる                      2 … あまり当てはまらない
- 1 … 全く当てはまらない                      0 … 分からない

● 生徒全体 (二二七名)

No.	質 問	評 価 平 均	4	3	2	1	0
1	自分は2年次からの教育課程に満足している。(2・3年のみ)	3.0	25%	48%	14%	4%	8%
2	自分は土曜講座を受講している。	1.9	15%	10%	7%	48%	20%
3	自分は「総合学習」「課題研究」に積極的に取り組んでいる。	2.9	24%	43%	19%	5%	8%
4	自分は授業が分かり易く工夫されていると感じている。	2.6	8%	43%	31%	4%	14%
5	各科コースガイドが日常の学習に役立っている。	2.3	7%	27%	34%	15%	17%
6	自分は学習に対して満足感、達成感を持っている。	2.5	7%	35%	37%	9%	12%
7	家庭学習時間が、毎日1時間以上である。	2.2	12%	21%	34%	26%	7%
8	自分は意欲的に学習に取り組んでいる。	2.5	10%	36%	35%	9%	9%
9	自分は高校生らしい服装、頭髪、言葉遣いをしている。	3.2	33%	46%	11%	1%	9%
10	登下校時や授業の開始、終了時に積極的に挨拶をしている。	3.0	26%	43%	21%	3%	6%
11	自分は、毎朝朝食をとり、生活のリズムが一定している。	3.2	41%	35%	14%	6%	3%
12	学校から提供されている進路情報が役立っている。	2.7	13%	39%	26%	5%	17%
13	保護者は、生徒の将来の進路志望について理解している。	3.1	29%	38%	15%	3%	14%
14	自分は進路指導関係の行事に積極的に参加している。	2.5	11%	33%	33%	9%	14%
15	自分は進路の適性をよく理解している。	2.7	13%	36%	28%	5%	19%
16	自分は進路実現に向けて積極的に取り組んでいる。	2.8	18%	39%	26%	4%	13%

● 保護者全体 (二二七名)

No.	質 問	評 価 平 均	4	3	2	1	0
17	子どもは2年次からの教育課程に満足している。(2・3年のみ)	3.0	24%	46%	14%	3%	14%
18	子どもは土曜講座を受講している。	1.9	14%	11%	8%	44%	23%
19	子どもは「総合学習」「課題研究」に積極的に取り組んでいる。	2.8	16%	36%	22%	5%	22%
20	子どもは授業が分かり易く工夫されていると感じている。	2.7	7%	40%	26%	3%	23%
21	各科コースガイドが日常の学習に役立っている。	2.6	8%	36%	29%	5%	22%
22	子どもは学習に対して満足感、達成感を持っている。	2.6	8%	39%	35%	5%	14%
23	子どもは家庭学習時間が、毎日1時間以上である。	2.3	13%	23%	35%	21%	8%
24	子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。	2.5	12%	35%	35%	10%	9%
25	子どもは高校生らしい服装、頭髪、言葉遣いをしている。	3.2	35%	48%	11%	2%	5%
26	子どもは、家庭内で積極的に挨拶している。	3.0	30%	41%	21%	4%	4%
27	子どもは、毎朝朝食をとり、生活のリズムが一定している。	3.2	44%	35%	13%	4%	4%
28	学校から提供されている進路情報が役立っている。	2.8	11%	46%	23%	3%	16%
29	子どもの将来の進路志望について私は理解している。	3.0	24%	47%	18%	2%	10%
30	子どもは進路関係の行事に積極的に参加している。	2.6	14%	31%	30%	7%	19%
31	子どもは進路の適性をよく理解している。	2.8	14%	40%	26%	3%	18%
32	子どもは、進路実現に向けて積極的に取り組んでいる。	2.8	18%	38%	25%	5%	15%



## 2011熱戦再来 北東北総体(インターハイ)、全国大会等結果

クラブ名	期 日	開 催 場 所	成 績
フェンシング部	7月29日 ～ 8月2日	むつ市 しもきた克雪ドーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>男子個人エペ 佐藤 佑紀 (J3-1) ベスト32</li> <li>女子個人フルール 小林 未来 (F3-6) ベスト32</li> <li>女子個人エペ 山木万里奈 (F3-5) ベスト32</li> <li>女子個人サーブル 小林 未来 (F3-6) ベスト16</li> <li>男子学校対抗 山木万里奈 (F3-5) ベスト32</li> <li>2 回戦敗退</li> <li>女子学校対抗 1 回戦敗退</li> </ul>
空 手 道 部	7月30日 ～ 8月2日	十和田市総合体育館	<ul style="list-style-type: none"> <li>女子個人形 川崎衣美子 (J3-1) 3 位</li> <li>女子個人組手 白根 実香 (F3-7) 5 位</li> <li>大谷津麻里 (J2-1) ベスト16</li> <li>男子個人組手 中野 貴仁 (J3-1) ベスト32</li> <li>女子団体組手 3 回戦敗退 ベスト16</li> <li>男子団体組手 1 回戦敗退</li> </ul>
アーチェリー部	8月8日 ～ 8月11日	八戸市東運動公園 陸上競技場	<ul style="list-style-type: none"> <li>男子団体 3 位</li> <li>女子団体 4 位</li> <li>男子個人 智天 (F3-3) 33位</li> <li>北 凌哉 (F3-1) 33位</li> <li>吉井 優 (F2-3) 66位</li> <li>神原 湜太 (F3-4) 82位</li> <li>女子個人 山本 千絵 (K2-1) 9 位</li> <li>小川 千鶴 (F3-5) 17位</li> <li>鈴木 里美 (F3-6) 17位</li> <li>邛松 千紘 (K3-1) 127位</li> </ul>
囲 碁 部	7月26日 ～ 7月26日	東京日本棋院会館	<b>第35回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>女子団体戦一次リーグ 1勝2敗</li> <li>女子個人戦一次リーグ 福山 麻美 (F3-9) 1勝2敗</li> </ul>
	8月3日 ～ 8月5日	福島コラッセふくしま	<b>第35回全国高等学校総合文化祭囲碁部門</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>女子個人戦 櫻井友紀乃 (F3-7) 2勝4敗 32位</li> <li>県混合団体戦 中山 愛美 (F3-6) 2勝4敗 36位</li> </ul>
放 送 部	7月8日 ～ 7月9日	東京NHK放送センター	<b>第58回NHK杯高校放送コンクール全国大会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>テレビドキュメント部門 「製糸場と工女さん」 準々決勝</li> <li>ラジオドキュメント部門 「梅と共に」 準々決勝</li> </ul>

### 編集後記

三月の東日本大震災から早六ヶ月が経ちましたが、その影響で電力不足が懸念され、日本全体で15%以上の節電が求められ、職場や家庭でも節電に取り組み夏となりました。また福島第一原発の放射能汚染により、食の安全が問いなおされている昨今です。そんな暗いニュースが続く中で、女子ワールドカップサッカーにおける「なでしこジャパン」の活躍は、世界に大きな衝動を与え、日本に大きな自信と勇気と感動をもたらし、国民栄誉賞受賞がそれに素晴らしい花を添えました。

本校では、この夏休み中に北東北で行われたインターハイに空手道部、フェンシング部、アーチェリー部がそれぞれ男女で出場し、空手道部の川崎衣美子選手が個人形の部で第三位に入賞し、アーチェリー部男子が男子が団体三位、女子が団体四位にそれぞれ入賞致しました。行事では、十一月にクラス対抗の球技大会が予定されており、これがクラスの団結をより強固にしてゆく契機になることを期待しています。また二学期は、一・二年生にとって、先輩に替わって部活動の中心になる時期であり、三年生にとつては進路達成の時期に突入し、夏休み中の様々な努力の成果を発揮すべき時です。生徒一人一人が良い結果を出してくれることを願うと共に、先生方が良きアドバイザーとして指導に当たってくれるものと確信しています。

さて二学期早々に本校の野球部は、部員による不祥事が発覚し秋の大会への出場を辞退致しました。学校としては、今回の件は重大な遺憾なことに受け止め、精査し再びこのような事態が起こらぬよう指導を徹底し、再発防止に努めてまいりますので、どうぞご理解とご協力の程宜しくお願い申し上げます。

最後に、「商大附高だより68号」に寄稿いただきましたご父母の皆様には感謝申し上げます。

(高橋洋)



高崎商科大学附属  
高等学校  
マスコットマーク